

# 多様な人々をささえる

多様な人々が多様に活躍できる  
社会づくりをめざして



## 仕事と家庭の両立支援

課題  
目的

- 働き方改革
- ダイバーシティ

当行では、仕事と家庭の両立支援の一環として、男性育児参画促進を積極的に展開しています。

2018年8月には、男性行員とその子が参加する「職場体験ツアー」の開催や、三重県と共催で「パパ料理教室」を実施し、計画的な休暇取得推進や業後に目的をもって働くことで「早くカエル」の実践につなげました。また、各職場では同僚や上司の協力のもと、働き方の見直しを行うことで、働きやすい環境整備に努めています。



▲パパ料理教室



▲職場体験ツアー

## スポーツ振興への取組み

課題  
目的

- 地域活性化
- ダイバーシティ

CSRの一環として、トップアスリートをサポートし、地域のスポーツ振興に努めています。

2018年4月には、セーリング（ヨットレース）のトップアスリートである南里 研二行員が入行しました。2021年に開催される「三重とこわか国体」に向けて、南里行員の活躍を精一杯応援できる体制を組織全体で創り上げていきます。トップアスリートの活躍を通じ、銀行内だけでなく地域の皆さまと喜びを分かち合いたいと考えています。



## 新入行員研修制度の改革

課題  
目的

- 人材育成

新入行員の早期戦力化に向けて、2018年度から、毎年4月に実施している新入行員研修を「105（イチマルゴ）フレッシュアカデミー」として刷新し、研修期間を長期化（3か月）するとともに、スマートフォンやタブレットなどで反復学習ができる「学習ドリル」を導入しました。研修では、銀行業務の基礎やビジネスマナーなどを徹底的に学びます。

当行では引き続き、幅広い知識を持ち、地域社会の多様な人々をささえることのできる行員の育成に取り組んでいきます。



## 金融教育などの普及活動

課題  
目的

- 金融リテラシーの向上

経済や金融の知識をより深めていただくため、中学校、高校、大学などへ講師として行員を派遣しているほか、インターシップや体験学習などの受入れを行っています。



▲ビジネスマナー教室



▲体験学習



▲大学での講義

